

北九州市環境基本計画の進捗状況【概要】

総合評価

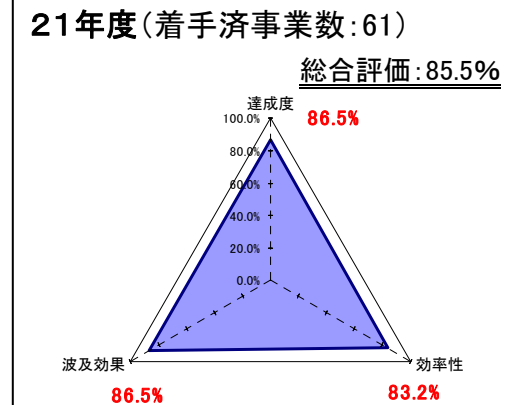
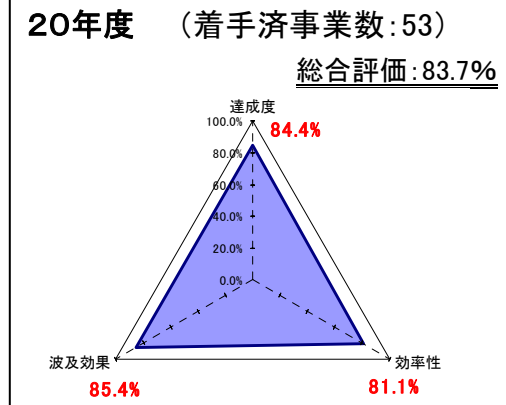
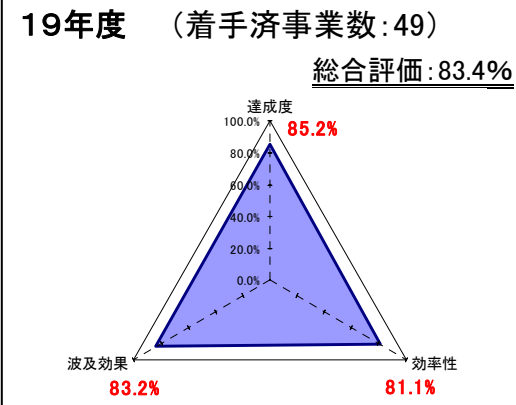
年度	※総数	A	B	C	D
19	49	36 (73.5%)	12 (24.5%)	1 (2.0%)	0
20	53	40 (75.5%)	11 (20.8%)	1 (1.9%)	1 (1.9%)
21	61	48 (78.6%)	13 (21.4%)	0	0

総合評価

総合評価点数から判断すると、平均点は年々伸びており、21年度に85%を越えるなど概ね順調な進捗状況といえる。また、一部事業において内容の見直しなどを行った結果、総合評価は、「A」または「B」評価だけとなった。4つの基本政策部門別では、「地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化」が他の部門に比べ低いですが、21年度に総合評価が80%を越えている。

新たな動向

21年3月に環境モデル都市行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」策定し、低炭素化社会づくりを目指した施策が一層拡充されている。また、22年4月に、国から「次世代エネルギー・社会システム事業」を行う地域として八幡東田地区が選定され、次世代送電網（スマートグリッド）を中核に、交通システムやライフスタイルの変革を図る様々な実証を行っている。



環境基本計画関連経費〔決算ベース〕			
	19年度	20年度	21年度
事業数 (対象事業総数)	213 (49)	210 (53)	239 (61)
関連経費総額 (対象事業決算額合計)	9,764,671千円 (1,564,977千円)	10,841,950千円 (1,409,750千円)	13,859,527千円 (2,686,862千円)

対象事業決算額には外部の機関の決算額も含んでいる。

基本施策(4分野)の評価

※同一基本政策分野に掲げる事業の内、再掲されている事業は除いている。

※着手済数には、計画・準備段階である事業(実施に向けての検討会開催や周知を行っているもの)・終了した事業は含まない。

事業数と その評価	取組状況	I：地域から世界にひろがる 北九州市民環境力の強化				II：地域からの地球温暖化対策の 推進				III：循環型の生活様式 ・産業構造への転換				IV：豊かな自然環境と 快適な生活環境の確保				
		事業数		着手済数		事業数		着手済数		事業数		着手済数		事業数		着手済数		
		19年度	20年度	21年度	19年度	20年度	21年度	19年度	20年度	21年度	19年度	20年度	21年度	19年度	20年度	21年度		
A: 積極的推進 B: 一部見直し C: 抜本的見直し D: 廃止及び休止	19年度	項目	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		事業数 (着手済数に占める割合)	11 (61.1%)	6 (33.3%)	1 (5.6%)	0	11 (84.6%)	2 (15.4%)	0	0	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0	0	9 (90%)	1 (10%)	0	0
	20年度	項目	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		事業数 (着手済数に占める割合)	11 (55.0%)	8 (40.0%)	0	1 (5.0%)	11 (84.6%)	2 (15.4%)	0	0	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0	12 (100%)	0	0	0
	21年度	項目	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		事業数 (着手済数に占める割合)	13 (65.0%)	7 (35.0%)	0	0	18 (94.7%)	1 (5.3%)	0	0	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0	0	12 (85.7%)	2 (14.3%)	0	0